

第7期第4回 中地区公民館運営審議会 会議次第

令和2年12月14日（月）午後1時30分～3時30分
会場 石山地区公民館 4階 ホール

1 開 会

2 議 事

（1）令和元年度事業評価シートの委員意見について・・・資料1

（2）令和2年度事業の中間報告について・・資料2-1, 資料2-2

（3）令和3年度予算の策定状況について・・・・・・・・・・資料3

（4）令和3年度事業に関する委員提案について・・・・・・・・資料4

3 その他

（1）運営審議会正副議長会議について（11月30日時点で開催予定なし）

4 閉 会

令和元年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見

【全体を集約した意見（案）】

	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(案)	<p>東区公民館運営方針の重点事業を中心に多くの事業を実施しており、幅広い世代を対象とし充実した内容となっている。申し込み方法にインターネットを導入したことも評価できる。</p> <p>地域と密着した多くの事業を実施しており、地域のコミュニティ活動を活性化できたことは高く評価する。また、公民館から離れた地域とのつながりができたことは良いことだと思う。</p> <p>子育て支援事業では、子育て中の親の交流を通して、悩みや不安の解消、虐待の防止にもつながるので継続していくこと。</p> <p>公民館に対するより一層の理解と参加者の掘り起こしのために、ソーシャルネットワーク等を活用しての事業のPRや出前講座等で多方面への事業を企画してはどうか。</p>	<p>継続事業やコミ協等との連携事業がより充実した内容で定番化するとともに、多様なニーズに合わせた新規事業や既存事業のリニューアルを行うことで、多くの参加者が集まり、また新規利用者層の獲得に繋がった。</p> <p>地域支え合い、まちづくり活動、高齢者の健康と生きがいづくりは重要であるので、ますます活動を充実させてほしい。</p> <p>家庭の教育力向上は重要なテーマであり、乳幼児期の子育て中の親にとって有益な情報交換や交流の場として機能することが虐待等の防止に繋がる。</p> <p>切り口を変えるなど斬新なアイデアで既成概念を打ち破る事業展開を期待する。</p>	<p>木戸音楽芸能文化祭は木戸地区の定番イベントとして多くの参加者があった。学社民の融合を促す活動としても意義がある。今後活動を継続していくことが重要。</p> <p>建物の老朽化や利便性の問題等から事業への参加者が集まりにくい状況。活動内容の見直しとともに、子育てサロン等を石山地区に事業集約していく方向も検討が必要。</p> <p>存続問題の検討にあたり、利用者からの意見聴取(アンケート、意見交換会など)を実施してはどうか。</p>

委員	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(石井委員)	<p>コロナ禍の中、年度前半は、着実に事業を実施され、それなりの成果を上げられたと思います。</p> <p>本年度は、特に力を入れられた地域コミュニティ活動の支援が活性化できたことは、高く評価されます。</p> <p>運営評議会においては、各事業の反応を、参加者から事後に提出されたアンケートや感想の紹介で終わっていますが、それらを踏まえた上で、主催する公民館としてのきめ細かい総括結果やもう少し深い意見を伺いたいと思いました。</p> <p>いただいた事業評価シートだけでは、個別の事業の評価を読むことができません。</p>	<p>基本的には、上記中地区公民館と同じです。</p> <p>本年度実施された「地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業」の13事業の内、5事業を廃止と評価され、次年度計画では8事業に減っています。</p> <p>削られた事業は、いずれも本年度に新規事業として立ち上げたものばかりです。</p> <p>カルチャー的な事業を整理する方針変更をされたのかと推察されますが、その点の説明が不足しているように思います。</p>	<p>従前から話題になっている木戸公民館の存続問題を検討するためにも、利用者からの存続に対する意見聴取(アンケート、意見交換会など)を早期に実施されることをお願いいたします。</p>
(井上委員)	<p>① 山ノ下中学校と協力して、CC の考えを踏まえて、協力出来た事、来年度更に、防災教育を、山の下中学校とCCとの連携を検討していくことは、評価される。</p> <p>② 桃山小学校児童が、公民館のサークル活動(手話・茶道・生け花・将棋・卓球)を体験し、高齢者と、全ての年代へのアプローチがあることは、評価される。</p> <p>③ 開催日を、土曜にして、参加しやすくなり、子どもでも楽しく参加し、理解が深まる内容や、需要が高い講座の企画だった。</p>	<p>① 継続事業や、コミ協等との連携事業が、より充実した内容で定番化し、新規事業・単発事業に取り組むことができたことは、評価される。</p> <p>② 小学校との連携で、事業を開催し、主にチラシ・ポスターの作成など、学校コーディネーターと調整しながらの企画運営であるが、企画段階における意見、提案等、積極的に進む機会が増えていることは、評価される。</p> <p>③ 未就園親子対象の「子育てサロン」、乳幼</p>	<p>① 「音楽芸能祭」は、H30年度から、実行委員会での、打合せ会議での改善が計られて、年々当日の役割分担等もスムーズな運営になっていることは、評価される。</p> <p>② 「家庭教育 親子の居場所」では、今後とも、参加者の増加が見込めなく事業廃止は残念である。</p> <p>③ 「体験活動」は、試験的な「子ども事業」であったが、参加者の満足度・気付き共に、100%と見られる様に、子ども達のニーズに合致しているため、次への実施を目指</p>

	<p>④ 異年齢の子や、他の学校に通う子が、講師と交流し、学び合える場としての事業は、高く評価される。</p> <p>⑤ 参加者が、積極的に会の運営に協力し、居場所・社会参加の場として、定着していくことは、高く評価される。</p> <p>⑥ 「子育てサロンボランティア研修会」では、サロン開催時の振り返りの時間に出た課題や意見等を基にテーマを設定したことで、「子育てサロン」における、子どもたちの健全やかな成長や親同士の繋がり作りを支援する場の重要性を、再確認できたことは、高く評価される。</p>	<p>児期の親を対象とした、「ゆりかご学級」そして幼児期の親を対象とした「幼児期家庭教育学級」が、三本柱であるが、より気楽に交流できるように保育室を開放したところ、講座後も残って、話し込む保護者の姿が見られるようになったことは、評価される。</p> <p>④ 今年度は、夏休み、冬休みに加え、春休みにも、新規事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の関係で中止となってしまった。ことは、残念だった。</p> <p>⑤ 今年度は、メニューを変えて更なる参加者の拡大を狙っていたが、事業が、開催できなかったことは、残念である。地域の高齢者の健康と生き甲斐作りは、重要なテーマであるので、今後も内容を精査しながら、継続して行って欲しい。</p> <p>⑥ 就労女性を対象とした「美活いろは塾」は、メニューのリニューアルを図りながら、新規利用層の獲得に寄与したことは、評価される。</p>	<p>して欲しい。</p>
(遠見委員)	<p>重点化項目も地域に根ざしたものになっており、かつ事業内容も将来を見据えたものになっている。また、関係機関との連携も進んでおり、参加者の掘り起こしにもつながっている感がある。すべてにおいて、よい方向に向かっているものと評価できる。</p>	<p>重点化項目も多様で、かつ参加者のニーズに合致した取組が多い。事業内容も充実している感がある。</p> <p>公民館に対するより一層の理解と参加者の掘り起こしのために、ソーシャルネットワーク等を活用しての、事業のPRを進めること</p>	

	<p>課題は、公民館に対するより一層の理解と参加者の掘り起こしのために、ソーシャルネットワーク等を活用しての、事業のPRを進めることを通して、潜在的な参加者の掘り起こしをしていく時代になっているのかも知れない。</p>	<p>を通して、潜在的な参加者の掘り起こしをしていく時代になっているのかも知れない。</p>	
(高橋委員)	<p>全体的に事業努力がみられる。 定着している事業に必要性を感じる。 申込み方法にインターネットを導入したことは好評価である。</p>	<p>全体的に活発に事業を展開したとみられる。 新型コロナウイルスでできなかった事業をためて、できるようになったら開催することを期待している。</p>	<p>木戸公民館で行わなくてもよい方向に進んでいるように思われる。</p>
(津野委員)	<p>中学校との連携や下山コミ協との共催事業など、地域との連携事業が実施でき、公民館から離れた地域とのつながりができたことは良いことだと思う。今後も様々な連携を期待します。アクティブシニア講座では健康づくりにもよい太極拳でサークル活性化につながったことは評価したい。 家庭教育学級・子育てサロンなどの事業は子育て中の親の交流などを通じて、悩み・不安の解消にもつながり、話をすることで虐待などの防止にもつながるので、継続していくことが重要だと思います。 現代的課題の事業が、石山地区公民館との共催1事業のみだったので、もう少し事業を考えても良いのではないかと。</p>	<p>継続事業や連携事業がたくさんあるが、どの事業も満足度・気づきの度合いが高く充実していると感じます。新規事業もペットと防災など、一風変わっているようにも見えるが最近気になるものでもあり着眼点が素晴らしいと思います。 また、美活いろは塾のように、夜間講座で日頃公民館を利用しない人へのPRにもなる事業など、新規利用者層の獲得につながっていることを評価したい。 3月に企画していた事業がコロナ禍で中止になり残念でしたが、時期をみてできるものはぜひやってほしいと思います。</p>	<p>施設の利便性などの問題もあり、事業を継続することは大変なのだと思う。</p>

<p>(野本委員)</p>	<p>昨年と同様に各事業について、重点をおか れているキーワードをもとに、多くの事業を実 施されたと思います。児童や高齢者などに関 連するイベントについて、とても充実していた ことを確認しました。</p> <p>昨年も指摘を致しましたが、参加者数の欄で は、最大募集人数も追加してくれると各イベ ントの状況がよりわかりやすくなると思いま すので、ご検討ください。</p>	<p>中地区と同様、重点をおかれているキーワ ードをもとに、多くの事業を実施されたと思 います。児童や高齢者などに関連するイベ ントについて、とても充実していたことを確 認しました。</p> <p>実施状況(最終報告)の配布資料のことで すが、参加者数の欄では、最大募集人数も 追加してくれると各イベントの状況がより わかりやすくなると思いますので、ご検討 ください。</p>	<p>建物の老朽化により、過渡期であることを考 慮すると、可能な範囲での行事を実施して いると思います。</p>
<p>(藤井委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、魅力的で多様な活動の実 施は、素晴らしいことだと思いました。 ・特に、重点3の「家庭の教育力向上」はと ても大切で有意義であると思います。乳幼 児期の子育て真っ最中の親にとってのよき 情報交換や交流の場となっていることで しょう。特に、14「めざせ親力 UP!」は、子 どものかかわり方に悩む親にとっ ては、とてもありがたい講座だと思いま す。 ・昨年度も書きましたが、重点3に対して、重 点5「高齢者の学習・社会参加支援」の事 業が少ない印象を受けました。ただ、27 の「この指とまれ」の活動が通年開催さ れ、その中で多様な活動があるような ので安心しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、魅力的で多様な活動の実 施は、素晴らしいことだと思いました。 ・昨年度同様、重点1「地域コミュニティ活 動の活性化支援」に、魅力的な新規事業 がたくさんあることが素晴らしいと思 います。特に、8「ペットと防災」は、飼 い主の人口が増えている現代では、ニ ーズのある講座だと思います。 ・特に、重点3の「家庭の教育力向上」は とても大切で有意義であると思いま す。乳幼児期の子育て真っ最中の親 にとってのよき情報交換や交流の場と なっていることでしょう。このような場 があることで、少しでも虐待等の痛 ましい事件等の抑止力になっている ことと思います。 ・重点3に対して、重点5「高齢者の学 習・社会参加支援」の事業がやや少 ない印象 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点2「三世代交流 木戸地域音楽芸 能文化祭」は、613人の参加者を 得て、素晴らしい成果が上がった と思います。このような学社民融 合を促す活動が継続されている ことが重要だと思いますが、R2 は中止ということになり残念です。

		を受けましたが、重点6の 35「師走の落語会」が高齢者の外出のきっかけとなり、190名の参加者を得たことは大きな成果だと思います。	
(村山委員)	<p>① 多種多様な事業を年齢層・階層などのニーズを把握のうえ企画し、全般的に多くの参加者と満足度を得て一定の成果をだしている。</p> <p>② 管内のコミュニティ協議会・小中学校などと共催したなかで、各地区の特色を生かした行事の実施に成果があった。</p> <p>これまで関係の少ない大形・東山ノ下地区のコミュニティ協議会・小中学校・団体との事業の共催・支援について、話し合う場を設けて事業企画に生かしてほしい。</p> <p>③ 防災関係の育成講座や防災教育については、今日的な課題を把握し、意識や知識の向上に一定の成果があった。ほかの地区でもニーズがあれば、実施してもらいたい。</p> <p>④ 文化祭は定期使用団体の活動成果発表の機会として、また地域交流の場として創意工夫をしながら、ますます発展してほしい。</p>	<p>① 年度計画を上回る多様で多くの事業を精力的に実施し、一定の成果があった。また、新規事業を積極的に取り入れて、時代・世代の変化する多様なニーズに合わせた内容で多くの参加者があった。</p> <p>② コミュニティ協議会や各種団体と連携・共催して、「お互いさまネット」「ご近所だんぎ」などに、多くの参加者を得て地域支え合いやまちづくり活動に成果があった。近隣関係が希薄化し、高齢化が進むなかで重要な活動である。ますます活動を充実し、モデル地区になることを期待する。</p> <p>③ 公民館から離れた木戸・牡丹山・紫竹中央地区との、連携した行事が少ないように感じる。当該コミュニティ協議会・小中学校などとの話し合いの場を設けて、要望やニーズの把握をおこない、双方にとってメリットのある行事企画が必要ではないか。</p>	<p>① 「三世代交流木戸地域音楽芸能文化祭」は年々、工夫・改善をして木戸地区のイベントとして充実、定着している。今後ますますの発展が期待される。</p> <p>② 子育てサロン「木戸っこくらぶ」と「キッズものづくり教室」は、参加者が少ないことから石山地区公民館の行事に集約して、事業廃止または内容見直しの方向で検討した方がよい。</p>
(安原委員)	<p>公民館の活動の源泉は責任者にあります。それは、どこの世界でも同じです。どんな大き</p>	<p>この五年間で、館長が二人代わっています。中地区とは違い、若い館長だったせい</p>	<p>何回も書きますが、木戸公民館など言う公民館は、事実上存在しません。一刻も早くなく</p>

	<p>な組織でも、小さな組織でも変わることはなく、率いる責任者の気概や、取り組み方で結果は大きく変わります。五年前私が、初めて審議委員になり委員会に出席した時の感触は最悪です。会議に活気はなく、委員同士の会話も、挨拶すら皆無でした。前年に委員を要請してくれた石山地区公民館の元館長に、その話をしたところ、「ひどい状態でしょう。それを改善してほしいと思って、安原さんに就任を依頼したのよ」との返事が返ってきました。そこで、できる事を少しでも改善しようと言う思いで今迄やって来ました。前館長には、気概も意気込みもまるでなく、覇気の無さを指摘すると、ひたすら言い訳だけを繰り返す人でした。何回、言い訳は要らないと言ったか分かりません。定年前の数年を無難に過ごそうと思って赴任してきたとしか思えません。新館長には、前例を粉砕して欲しいと思っています。それと、委員会の時間数も不足しています。踏み込んだ審議ができないと思います。</p>	<p>か、色々違った切り口の事業が展開されてきました。職員の側から見ると、多分やる気が増していくと思います。毎年毎年、同じ事業を繰り返すだけなんて退屈なだけです。担当する職員がそうであると、如実に態度に出ます。参加した人に伝わってしまうのです。同じ事業でも、毎年担当を代えるというのも良い考えかもしれません。事業担当ローテーション制です。職員だって精々で3年か4年しか在籍しないですね。その間に、出来るだけ多くの経験を積ませた方が、本人にとっても良いことだと思います。稀には、振り分けられた仕事を拒否する人もいますと聞きますが、有無を言わず担当させるべきでしょう。自分が望んで勤務している以上当然覚悟しなくては成らない筈です。石山地区公民館には、斬新なアイデアで既成概念を打ち破る事業展開を期待します。</p>	<p>しましょう。</p>
(八幡委員)	<p>地域と密着して多数の事業を実施していることを評価します。山の下中学校 2 年生の防災教育は意識を高める良い機会ととらえ、これからも持続できればと思います。公民館として、地域活動利用目的と、自己向上参加の利</p>	<p>新型コロナウイルスにより、3 月に予定していた多数の事業が中止になったのは残念に思います。全体的にどの事業をみても、興味のある人にとっては参加したい内容と評価します。公民館として、地域活動利用目的と、自</p>	<p>施設の老朽化等の制約がありますが、木戸っこクラブのリピーターがいないことは残念です。次回も参加したくなるような活動内容の再検討が必要だと思います。</p>

	用目的の両輪の支援充実を希望します。今まで公民館にきたことがない人に対して、アピールできるよう館内にとらわれない出前講座等で多方面への事業計画を願います。	己向上参加の利用目的の両輪の支援充実を希望します。公民館休館をチャンスととらえ、館内にとらわれないで前講座等で多方面に向けてアピールする事業計画を願います。	
--	---	--	--

令和2年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-1

中地区公民館																	
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	コミュニティ・コーディネーター育成講座 山の下中学校「ジュニア防災」	防災をテーマに、地域活動の担い手の新たなネットワークづくりを行う。中学校の防災教育とタイアップすることにより、地域の将来を担う中学生の防災に関する意識啓発や知識技能の習得を図るとともに、地域を支える人材の発掘、育成に寄与する。令和2年11月18日に山の下中学校2年生を対象に開催予定。	少年	11月					1	午後	○		○		山の下地区コミュニティ協議会 東区総務課 山の下中学校	
	2	コミュニティ協議会等との共催事業 「夏まつさかりフェスタ」・「冬まつさかりフェスタ」	地域住民の多世代交流および山の下まちづくりセンターの認知度アップを目的に、山の下地区コミュニティ協議会・桃山校区コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催事業。夏まつさかりフェスタはコロナウイルス感染症予防のため中止。	総合	7月(中止)・2月					1	午前			○		山の下地区コミュニティ協議会・桃山校区コミュニティ協議会・山の下まちづくりセンター	
	3	コミュニティ協議会等との共催事業 「夏休み下山映画まつり」	下山地区コミュニティ協議会と共催し夏休みの過ごし方にふさわしい作品、ドキドキする映像作品、美しい映像作品、感動する映画の観賞を通じ、大人も子どもも情緒豊かに、鑑賞後温かい気持ちで過ごせるような作品の映写を実施した。人数制限により、2回開設、各回募集人数30人。	総合	7月	2	午後	50	50					○		下山地区コミュニティ協議会	
	4	コミュニティ協議会等との共催事業 「こもれび交差点映画観賞会」・「錦町町内会茶の間映画観賞会」・「ふれあい給食会映画観賞会」・「(中止)東山の下地区冬休み映画鑑賞会」【新規事業】	東山の下地区コミュニティ協議会と共催し、地域の方を対象に交通安全・特殊詐欺防止・情操教育等よりよい地域づくりに寄与する映画を上映する。地域の茶の間・ふれあい給食会で映写を実施した。12月実施予定だった少年対象のゲーム大会における映写会のみ事業規模縮小のため中止となった。	総合	7・8・9・10月	5	午前・午後	242	242					○		東山の下地区コミュニティ協議会	
	5	地域のたから再発見事業「桃山☆今昔まちあるき」	地域学習サークル「中地区地域楽」等と連携し、参加者が地域への関心を高め理解を深める内容の講座を実施した。6月に計画していた「桃山☆今昔まちあるき」は9月に延期し開催した。(募集10人)他に小学生向けの「山の下・桃山の昔のはなし」を開催予定。	総合	9月・12月	1	午前・午後	16	16	1	午後			○		中地区地域楽 桃山小学校	
2. 学・社・民の融合	6	サークル活動でふれ合おう (桃山小学校総合体験学習)	桃山小学校3年生の総合学習として、公民館見学やサークル活動への参加を通じて児童と地域の人々とのふれ合いを深めることを目的に例年6月～7月に実施していたが、コロナ禍により中止。	総合	中止								○	○	桃山小学校 中地区公民館使用団体 連絡協議会		
3. 家庭の教育力向上	7	乳児期家庭教育学級(第2期) 「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座。6月～7月開催予定だったが、コロナ禍で中止し、3-12の「0才児の親のための講座はじめのいっほ」を実施予定。	成人	中止								○			東区健康福祉課 山の下図書館	
	8	乳児期家庭教育学級 「0才児の親のための講座はじめのいっほ」	乳児期の子どもと心と身体の成長発達を理解し、同世代の子どもを持つ親同士で交流、子育てについての不安や悩みを軽減する。親自身の生き方を考え、人とつながり、仲間を作る機会となるよう支援する。募集人数8人、保育定員8人。	成人	12月					2	午前						
	9	乳児期家庭教育学級(第4期)	乳児期の家庭教育について考える。保護者対象の連続講座を開催予定。募集人数15人、保育定員10人。	成人	1～2月	6	午前						○			東区健康福祉課 山の下図書館	
	10	幼児期家庭教育学級 「親も子ども育ち合いで可能性を広げよう」	幼児期の保護者の学びと交流の場。保護者対象の連続講座を5～6月に5回連続講座を開催予定だったが、コロナ禍で中止。	成人	中止		午前									企画・実行委員2人	
	11	幼児期家庭教育学級 「親子のびのび広場」	幼児期の保護者の学びと交流の場とし、また就労中の親等が参加しやすい土曜日に開催し、子育ての参画を促す機会とする。	総合	1月					2	午前						
	12	小学生期家庭教育学級「あなた色の子育て 見つけてませんか？今日からやりたくなる4つのエッセンス」	子どもをもつ親として必要な知識や心構え学ぶとともに、子どもが自分らしく健全に成長できるよう、親としてどう関わればよいかを考える機会とする連続講座を開催。募集人数20人、保育定員6人。	成人	11～12月	2	午前	15	24	2	午前				○	企画委員4人	
	13	保育者連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催した。	成人	4月	1	午前	7	7								
	14	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施。。コロナ禍で4・5月(9回)を中止。	総合	4月～3月	22	午前	平均 4.5	99	17	午前	○			○	東区健康福祉課 山の下図書館 活動協力員	
15	子育てサロン「ひだまり」スペシャル「人形劇 大きなかぶ」	子育てサロン「ひだまり」を周知するために、単発のイベントを開催。10月29日に「人形劇大きなかぶ」を実施した。	総合	10月	1	午前	16	16						○	人形劇サークル「みっくすじゅうす」		

令和2年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-1

中地区公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育 コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動 協力員・ボラン ティア	
	16	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」	ボランティアスタッフや大形地区の民生委員の協力により、大形まちづくりセンターを会場に、未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供する。コロナ禍で4・5月(6回)を中止。	総合	6～3月	16 自由参加	午前	平均 3.1	49	13 自由参加	午前				○	活動協力員 大形地区民生委員
	17	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」スペシャル「わくわく七夕おたのしみ会」「おやこで楽しむクリスマスミニコンサート」	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」を周知するために、単発のイベントを開催。7月1日に「わくわく七夕おたのしみ会」を実施した(募集親子10組)。12月16日には「おやこで楽しむクリスマスミニコンサート」でハンドベルと歌のミニコンサートを開催予定(募集親子5組)。	総合	7月・12月	1 各回募集	午前	5	5	1	午前				○	活動協力員 大形地区民生委員
	18	楽しく作ろう親子料理教室「自分で作るお弁当」	子どもの基本的な生活習慣の形成、地域・家庭の教育力の向上、地域住民の連携実施による地域の活力・組織力向上を目的に、桃山校区コミュニティ協議会・桃山小学校と共催で実施した。募集人数親子9組18人。	総合	10月	1	午前	13	13					○		桃山校区コミュニティ協議会 桃山小学校
4. 青少年の生きる力育成	19	ジュニア将棋教室	日本文化としての将棋を学ぶとともに、基本的な礼儀や社会的なルールを身につけることを目的に、連続講座を開催中。コロナ禍で4月～9月は中止。募集人数20人。	少年	10月～3月	2 連続講座	午前	20	33	8 連続講座	午前				○	新潟市将棋普及協議会 学生ボランティア(新潟大学将棋部)
	20	少年体験事業「きらきらチャレンジ」	体験活動を通して、自ら考え取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。8月3日は「木工作杉灯りを作ろう！」(募集10人)、8月19日は「アロマ香るこねこね石けんを作ろう！」(募集10人)を各回募集で実施した。12月6日は「なっちゃん先生と楽しくキッズダンス」(募集10人)を実施予定。	少年	8月・12月	2 各回募集	午前	平均 11	22	1	午前					
	21	子ども学習会	①定時に公民館に通うことで、長期休暇中も規則正しく過ごす習慣をつける。②学校から出された宿題をやりきること、休職終了後に自信を持って学校に行けるようにする。夏季は5日間、山の下小・桃山小4・5・6年生を対象に実施した。(募集20人)冬季は3日間、同小学校3～6年生あてに募集予定。(募集15人)	少年	8月・12月	5 連続講座	午前	11	50	3 連続講座	午前					新潟県生涯学習推進協会
	22	青少年の居場所事業「ホットプレイス」	学校や家庭以外に、こどもたちが安心して居場所を設ける。また地域の大人と子どもがふれあえる場とする。なお、学校休業中は小中高校生の利用自粛要請、4/23～5/17臨時休館。	少年	4月～3月	197 自由利用	午前・午後・夜間	平均 9.1	1,785	126 自由利用	午前・午後・夜間					
	23	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の会議室を学習スペースとして提供する。なお、4/23～5/17臨時休館。	少年	4月～3月	85 自由利用	午前・午後 夜間	平均 2.4	208	50 自由利用	午前・午後・夜間					
	24	少年体験事業「大形ぼてっ子サークル」	学校の夏休み期間中に異年齢の児童とともに、学校や家庭ではできないような体験活動を実施し、参加者である児童に心の豊かさや社会性を育む。各回募集で「楽しい♪数遊び」(2回開設、各回1募集10人)、「ゴムテープで?！ちっちゃなバッグを作ろう♪」(募集10人)を実施した。	少年	8月	3 各回募集	午前	平均 8.7	26						○	新潟県立大学の学生ボランティア
5. 高齢者の学習・社会参加支援	25	ちいきのサロン「この指とまれ」	中高年の社会参加を促し、交流の輪を広げること、個人の経験や能力を生かし、生きがいを持って生活できることを目的に開催。公民館版の「地域の茶の間」。コロナ対策で、飲食の提供をせず、会場の半分の定員(20人)で8月から再開。「昔語り」「健康講座」「落語会」等実施した。	高齢者	8月～3月	4 各回募集	午前	平均 15.8	63	5 各回募集	午前				○	活動協力員 地域包括支援センター山の下
	26	アクティブシニア講座「一眼レフ&ミラーレスカメラの使いこなし術初めの一步」	一眼レフカメラを使いこなし初めの一步として、カメラ初心者のシニア向け入門講座を開催する。11月21日は知識編・12月5日は実技編。土曜開催。募集人員10人。	高齢者・成人	11月～12月	2 連続講座	午後				午後					
6. 現代的課題	27	ユースセミナー「おうち時間を快適に過ごすために」・「ステンドグラス体験講座」・「アロマ体験講座」	20～30代の若者を対象とし、参加者同士が繋がり、交流・学びを深められる機会を提供する。コロナ禍で自宅で過ごす時間が増えていることから、「おうち時間を快適に過ごすために」と称し、各回募集①11月15日(土)「ステンドグラス体験講座」(募集6人)を実施した。12月以降②「アロマ体験講座」(募集15人)等を予定。	成人	11月・12月・1月	1 各回募集	午後	4.0	4	2 各回募集						
	28	ポッチャ体験会「やってみようポッチャ！」	障がい者スポーツ・パラリンピック競技の理解を深めるための体験会を計画していたが、コロナ禍により6月開催を中止した。	総合		中止	午後							○	スポーツ推進委員	
	29	東区歴史浪漫講座	下山郷土史研究会の協力のもと、東区の歴史を学び、郷土愛を育む機会とする。9月5日「東区の土地の成り立ちと古代遺跡」、10月3日「阿賀野川と砂丘と共に 下山の恵みと戦いにみる物語パート1」11月8日は同タイトル「パート2」(現地学習)を実施した。各回募集30人。	成人	9月～11月	3	午後	平均 54.3	163						○	東区歴史浪漫実行委員会・下山地区コミュニティ協議会・下山郷土史研究会
7. その他	30	文化祭	公民館の定期使用団体(サークル)の作品展示、音楽芸能活動の発表会であるが、定期使用団体連絡協議会の書面表決により、今年度はコロナ禍で中止した。	総合	中止	4 自由参加	午前・午後・夜間									中地区公民館使用団体 連絡協議会
	31	ミニギャラリー	新型コロナウイルス感染症感染予防のため、2020年度の中地区公民館文化祭が中止になり、また、各分野での発表の場も取り止めとなっている。このため展示部門のサークルの発表の場が減少している。サークル活動の活性化のため、活動内容の発表の場を小規模で継続可能な規模で設置するもの。	総合	6月～3月	4	午前・午後・夜間	フリースペースでの展示のため、観覧者数不明 4団体参加		2 2団体参加予	午前・午後・夜間					
	32	「夏だ！あつまれ！ミニ☆映画まつり！」・「クリスマス！ミニ☆映画まつり！」	子どもも大人も対象に情緒を豊かにする目的で実施。7月は「ミッキーのハワイ旅行」「オンパの皮」「やさしいオオカミ」「トキよ舞い上がれ」を上映(募集30人)。12月は「ぼくは王さまおしゃべりなたまごやき」「大男とクリスマス」「ごきつねコンとこだぬきボン」を上映予定(募集30人)。	総合	7・12月	1 各回募集	午前	20	20	1 各回募集	午前					

令和2年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-1

中地区公民館		No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考
重点化	回数						時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育 コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動 協力員・ボラン ティア		
																自由参加	
	33	忘れな草の会共催「あなたも昔話の世界へ 民話体験講座」	自主グループ忘れな草の会の知識・技能を生かし、地域に還元することを 目的に実施。	成人	6月～3月	3	午後	14	25							忘れな草の会	
	34	定期使用団体研修会	公民館利用についての意見交換会と次年度の定期利用の説明会を開催。 11月7日に開催した。午前の部、午後の部、各回60人定員。	成人	11月	2	午前・午後	61	61							中地区公民館使用団体 連絡協議会	
	35	サークル体験学習会	公民館の定期使用団体(サークル)の活動の活性化のため、強化月間を設 けてサークル体験会を開催し、新規会員の募集を行う。	総合	3月					60	午前・午後・ 夜間					中地区公民館使用団体 連絡協議会	
	36	自主グループ育成事業	公民館の定期使用団体(サークル)の新規会員募集を支援するため、サー クル体験会の実施について広報や助言等を行う。ペン習字、体操、ヨガ、 フォークソング、麻雀、レクダンスのサークルで実施した。	総合	随時	17	午前・午後	平均 2.6	45							中地区公民館使用団体 連絡協議会	
	37	中地区公民館親睦卓球大会	複数ある卓球サークルの会員同士の親睦を図るための卓球大会。	成人	2月					1	午前				○	活動協力員	
合計						391		606	3,026	301							

令和2年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-2

重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携			備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	お互いさまネット石山	コミュニティ協議会と連携し、高齢化・身寄りのない人・社会的弱者への理解と支援の必要性など、地域にとって必要な事を課題として洗い出し、住民相互協力のもと、地域を中心とした支え合いのまちづくりの実現に向け学習を行った。	総合	10月	4 連続講座	午前	25 (定員40)	61						石山管内4コミュニティ協議会(中野山・東中野山・南中野山・江南小学校区コミ協)
	2	ご近所だんぎ	住民自らが自分たちの暮らす地域が抱える課題について考え、地域で支え合いながら健康で健やかに暮らしていくために必要な様々な事柄について、テーマを絞りながら学習・話し合いを行う。	総合	6月～3月 (12月除く)	5 自由参加	午後	161	161	4 自由参加	午後				ご近所だんぎ世話人(東区地域住民)
	3	「すごぼり」の桜並木を歩こう	コミュニティ協議会等と連携し、すごぼりの桜並木の散策・ゴミ拾いを通じて、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どもとおとなの交流及び環境美化意識を深める機会とする。	総合	4月 【中止】										南中野山小学校区コミュニティ協議会、同校PTA、東区社会福祉協議会
	4	親子で笹団子づくり	郷土料理である笹団子の調理を通して、地域の子とおとな、また子ども同士、おとな同士が交流し合う機会とする。	総合	6月 【中止】										南中野山小学校区コミュニティ協議会
	5	石山地区芸能まつり	公民館利用団体等の音楽・芸能団体が実行委員会を組織し、開催する芸能まつり。日頃の学習の成果を発表することで、地域住民への文化の還元にもつなげる。	総合	5月 【中止】										石山地区芸能まつり実行委員会
	6	心に響く冬のコンサート	公民館利用団体等の音楽活動団体で実行委員会を組織し、開催するコンサート。日頃の学習の成果を発表することで、地域住民への文化の還元にもつなげる。	総合	12月 【中止】										心に響く冬のコンサート実行委員会
	7	防災講座 女性限定「防災セミナー」	南相馬市から新潟市で避難生活を送る人や女性防災士として地域で活躍する人等の体験を通じ、女性の視点から被災時の行動や心構え、避難所生活における注意点等を学び、防災意識の向上を図った。	成人	9月	3 連続講座	午前	20 (定員20)	56						市防災士の会女性部
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり	8	「すごぼり」の桜並木を歩こう	学校と公民館、地域住民が協働で小学校文化祭時に茶室を運営。地域と学校、そして地域住民間での交流やふれあいの場を創出する。	成人	10月 【中止】									東中野山小学校、学校支援ボランティア、公民館利用団体等	
3. 家庭の教育力向上	9	乳児期家庭教育学級(第3期) 「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催する。	成人	10月～11月 【中止】									石山地域保健福祉センター	
	10	乳児期家庭教育学級 「だいすき赤ちゃんママパパクラス」 【ゆりかご学級代替】	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催した。	成人	10月～11月	3 連続講座	午前	3 (定員20)	9			○		東区健康福祉課	
	11	幼児期家庭教育学級	幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催する。	成人	12月					3 連続講座	午前				
	12	子育てサロン「びーかーぶー」	子育て中の保護者の情報交換や仲間づくりを目的とし、0歳児の親子の遊び場を提供する。また地域での子育てを支援するボランティアスタッフを育てる。	総合	10月～3月	3	午前	31	31	9 自由参加	午前			○	石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ
	13	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	1月～3月					6 自由参加	午前			○	ぐりとぐら、子育てサロンボランティアスタッフ
4. 青少年の生きる力育成	14	石山あそび隊 (春休み期間中に開催) 【夏休みから実施時期を変更】	異年齢を含む集団での体験活動を通じ、子どもたちの自発的に考える力や周囲と協力し合う姿勢など、集団生活を送るうえで求められる基本的な態度を育む。	少年	3月	毎回募集				2	午前			○	活動協力員
	15	冬休み子ども体験	異年齢を含む集団での体験活動を通じ、子どもたちの自発的に考える力や周囲と協力し合う姿勢など、集団生活を送るうえで求められる基本的な態度を育む。	少年	12月					1	午前			○	活動協力員
	16	青少年の居場所づくり	公民館の談話室を子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」として提供し、交流できる機会を提供する。	総合	通年	157 自由参加	午前・午後・夜間	2,355	2,355	125	午前・午後・夜間				
	17	学習室開放事業	公民館の1室を学習室として開放し、個人学習の支援を図る。	少年	通年	187 自由参加	午前・午後・夜間	350	350	125	午前・午後・夜間				
5. 高齢者の学習・社会参加支援	18	アクティブシニア	シニア世代の生活に役立つ知識(健康づくり・生きがい等)を習得するための講座を開催する。	高齢者	3月					4 連続講座	午後				
6. 現代的課題	19	働き女子の美活いろは塾	働く女性が仕事や日常で役立つ知識を得ながら心身のリフレッシュや自己肯定感のアップを図り生き生きと活躍できるよう支援するとともに、異業種間の交流や講座を通じた仲間づくりのきっかけとなる場を提供する。また、併せて、新たな公民館利用層の開拓に繋げていく。	成人	11月	2 連続講座	夜間	20 (定員20)	37	2 連続講座	夜間				
	20	人権講座 「見えない世界の向こう側」	全ての人が尊重され、お互いの大切さを認め合うために、人権に関する学習機会を提供した。 SNSをテーマに、無意識のうちに他者の人権を侵害してしまうことの危険性について、具体的なネットトラブルの例を交え学習した。	成人	10月～11月	2 連続講座	午前	18 (定員20)	30					○	人権擁護委員
	21	高齢者対策事業 「新春落語会」「はじめよう！けん玉で健康づくり」	落語の高座や、けん玉の講習を通じ、高齢者の健康維持増進を図る。	高齢者	1月・3月					2	午前1回 午後1回				
	22	講師デビュー応援講座 【新規事業】	特技を活かしたボランティア活動等で講師として地域活動に貢献できる人材の育成を図る。	成人	2月					2 連続講座	午前				
	23	「はじめての朗読」 【新規事業】	朗読を楽しみながら日本語への理解を高めるとともに、地域に伝わる昔話に光をあて、地域文化の再発見と後世への伝承に向けた人材の育成を図る。	成人	1月～2月					5 連続講座	午前・一部午後				

令和2年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

資料2-2

石山地区公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4月～11月15日)				今後実施予定(11月16日～3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数 (人)	延参加者数 (人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会等	運営委員・活 動協力員・ボラ ンティア	
7. その他	24	公民館へいってみよう!	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体(サークル)の活性化を目的に、サークル体験会を開催する。	総合	3月					1	午前・午後・ 夜間					
	25	第41回文化祭	定期利用団体の作品展示や音楽芸能の発表会を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元も図る。	総合	10月 【中止】											
	26	石山地区野球大会	野球大会を通じ、健康増進をはかり、石山地区管内で活動する団体の親睦・交流・連帯意識を深める。	総合	7月～8月 【中止】											
	27	自主グループ育成事業	事業共催により、自主グループの活動育成と支援を図る。	総合	随時					1	午後					
合計							366		2,983	3,090	292					

令和2年度事業実施状況(中間報告 11月15日現在)

木戸公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数 (人)	延参加者数 (人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育 コーディネーター	コミ協・自治 連・老人会等	運営委員・活 動協力員・ボラ ンティア	
2. 学・社・民の融合	1	三世交代流音楽芸能祭	木戸地域の小・中学校・PTA・コミ協、地域の芸能団体が協働し、音楽・芸能をとおして三世代の交流を図る。	総合	【中止】											木戸地区音楽芸能文化祭実行委員会
3. 家庭の教育力向上	2	子育てサロン「木戸っこくらぶ」	地域の未就園児とその保護者が安心して過ごせる地域での居場所を提供する。	総合	【中止】											利用団体ぐりとぐら
合計						0		0	0	0						

東区公民館 R3年度予算案概要

【歳入】

(単位:千円)

区分	館別	R2 ①	R3 ②	増減②-①		備考
				金額	(%)	
使用料	東区計	2,295	作業日程・方針未定			%
	中	1,087				%
	石山	1,109				%
	木戸	99				%
雑入	東区計	355				%
	中	188				%
	石山	167				%

【歳出】

(単位:千円)

区分	館別	R2 当初 ③	R3 当初 ④	増減④-③		備考
				金額	(%)	
維持 管理費	東区計	9,313	作業日程・方針未定			%
	中	3,764				%
	石山	5,549				%
事業費	東区計	1,868				%
	中	1,127				%
	石山	741				%

令和3年度事業に関する委員提案

(石井委員)	
事業名 (仮称)	子どものために手話教室
内容	小学生を対象に、長期休み期間を利用して、手話の基礎を教える。講師は、公民館に登録している手話サークルの会員などに依頼する。
目的・趣旨	新潟市には「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」がある。 その目的を具体化するために、小学生のころから、障がいに対する理解を深め、障がいのある人々とのコミュニケーションの大切さを学ぶ機会を与えることは、公民館の社会教育の役割と考える。
その他補足説明	
公民館から	令和2年度はコロナ禍で中止でしたが、桃山小学校のサークル体験事業で手話の体験を今後も実施したいと考えます。また、公民館の手話サークルが大形小学校等の総合学習で手話の体験を実施していると聞いています。 他に、子ども対象事業の中で、手話や福祉について学ぶ機会を提供できるか検討します。

(遠見委員)	
事業名 (仮称)	大形地区での事業
内容	
目的・趣旨	中地区公民館について 大形地区での事業が少ないように感じられる。中地区公民館まで足を運べない方々や徒歩圏内であれば参加したいと考える住民も多くいると考えられる。是非とも、大形出張所や大形中学校、大形小学校と連携した事業を行うことを期待する。
その他補足説明	
公民館から	大形まちづくりセンターは駐車台数が少ないという問題があるので、既存の事業も含め他の会場も視野に入れ、コミ協・小学校・中学校・PTA・新潟県立大学と一緒に事業展開できるか協議したいと考えます。 なお、令和3年度は、他に大形ちいき楽会と共に、地域の歴史の学習機会の提供を企画しています。

(高橋委員)	
事業名 (仮称)	コロナ禍における防災とエコな生活

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今までとは違う防災について知る ・コロナ禍に考えるエコな生活
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの防災との違いを知り、防災についての心構えを学ぶ。 ・コロナ禍だからこそ必要なエコ生活を知り、家で実践できることを学ぶ。
その他補足説明	
公民館から	<p>山の下中学校との連携事業「ジュニア防災」をコミュニティコーディネーター養成講座として実施する中で、コロナ対策を加えた防災教育を実施したいと考えます。また、石山の防災講座の中で、感染症対策の観点も入れたいと考えます。</p> <p>補助避難所としての館の使い方等について、地区のコミ協等と検討協議したいと考えております。</p>

(津野委員)	
事業名 (仮称)	
内容	・家でもできる運動 (体慣らし) や趣味づくり
目的・趣旨	コロナ禍で自粛していたときに体を動かす機会があまりなく体調を維持することの大切さを感じたので、無理なくできる運動を継続できればいいのではと思いました。また何かできることがあると精神的にもいいかなと思います。
その他補足説明	
公民館から	<p>ちいきのサロンやご近所だんぎ等、中高年の講座の中で取り入れたいと考えます。</p> <p>また、山の下コミ協との共催事業や、既存のサークルの支援、サークル化を視野に入れたアクティブシニア事業等で、軽運動の講座の実施について検討したい。</p>

(野本委員)	
事業名 (仮称)	Zoom 活用教室ーメリットとデメリットを理解してこれまでよりも豊かな日常生活にするー
	企業などでの「オンライン会議」などさまざまな場面で活用されている「Zoom」の基本的な操作や活用方法について学ぶ。対象は小学生から高齢者とする。
目的・趣旨	<p>非対面コミュニケーションのデメリットは多くがあるが、メリットも多くある。例えば、①場所を問わず開催できる、②移動の時間を削減できる、③遠距離に居る相手とも気軽にコミュニケーションが取れる、等が考えられる。</p> <p>本事業はデジタルデバイドの問題があり、参加率が低くなる可能性が</p>

	高いがコロナのマイナスの面をプラスに変えるきっかけの一助になると考えられる。
その他補足説明	コロナの影響により、公民館の多くのイベントが中止になった。以前の生活に戻るにはワクチンの開発と普及が望まれているが、コロナとは別のウィルスがまたいつ流行するかわからない。デジタル機器に不慣れの人でもコロナをきっかけに Zoom を通して、インターネット関連の知識を習得することで、より豊かな日常生活になるものと考えます。
公民館から	中央公民館を中心に、公民館でも Zoom を活用した学習の検討をしております。各館での実施については、事業の内容等に応じて検討します。

(藤井委員)	
事業名 (仮称)	SNS との付き合い方
内容	現代的課題として、SNS の現状や活用法、技術面での講習、大切なマナー、被害に遭わないための心得等を講習する。 小・中学生の部と 高校生・一般の部の 2 つあるとよい。
公民館から	公民館では、小学生期家庭教育学級等講座のプログラムに趣旨を反映していきます。 また、学校で児童・生徒・保護者向けの SNS 教育をされていますが、学校での SNS に対する教育など情報交換の上、より効果のある取り組み・事業について協議していきたいと考えます。

(村山委員)	
事業名 (仮称)	各地区「歴史の会」の交流・結集による総合力の発揮および地域の活性化
内容	次の内容をできることから、段階的に取り組む。 ①4 つの「歴史の会」の交流会、連携活動の実施 まず、中地区公民館が声掛け役・パイプ役になり、情報交換会や連携活動内容の検討会を実施する。 ②「東区歴史浪漫講座」の各地区持ち回りによる実施 令和2年度は下山地区の実施予定だが、この「東区歴史浪漫講座」を実施できる地区から順次開催し、隠れた歴史の発掘と新たな歴史を研修する。 ③東区(中地区)歴史ボランティアガイドの養成と活用 各地区の史跡・名所・施設などを地域内外の人たちが、気軽に見学し学べるようにするため、東区(中地区)エリア内を案内できる「歴史ボランティアガイド」を養成し、地域活性化のため活用する。

目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、東区(中地区管内)には、4つの「歴史の会」がある。「中地区地域楽」「大形ちいき楽会」「木戸の歴史を知る会」「下山郷土史研究会」の4組織である。 ・各「歴史の会」とも地域の歴史を調査・研究し郷土史を作成し、地区の史跡・名所・文化遺産巡りや講演会などを実施している。 ・しかし、各「歴史の会」は相互の情報交換や連携がほとんどなく、独自の活動に取り組んでいる。相互に交流して他会から刺激を受けたり、共催した事業を行えば、自分の会はもちろんのこと東区全体の歴史活動の活性化につながる。
その他補足説明	なし
公民館から	<p>各地区の地域学の学習会を主体にした講座を実施する中で、他の会との交流の場の形成を検討します。</p> <p>東区歴史浪漫講座の方向性は東区地域課との連携事業で実施しましたが、令和3年度は中地区公民館の地域のたから再発見事業の中で地域学の学習成果の地域の還元を検討します。</p>

(安原委員)	
事業名(仮称)	歴史発掘「わが町の古代史を知ろう」
内容	<p>近年、現代史、近代史が盛んに取り上げられてくるようになりました。当然、自分自身も盛んに発掘している訳でご同慶の至りである。東区に住む私たちは、弥生時代に弥生人と縄文時代以来のくらしを続ける北方の人たちが交流する場を示す遺跡が北高等学校あったこと。</p> <p>古墳時代の牡丹山諏訪神社古墳があること。そしてあの淳足柵と古代の交流拠点でもあった山木戸遺跡のことなどを知れば、興味を示しその内容にワクワクすることでしょう。</p>
目的・趣旨	<p>人類の歴史は、私たち人間が賢く、より正しく生きるための知恵を与えてくれることでしょう。電気製品も車も何もなかった時代にどのような生き方をしていたのでしょうか。ひょっとして、便利ではなかった暮らしだけに一日中働きつめで、肥満体の人間などいなかったでしょう。そして、することがなく引き籠っている人も、いなかったでしょうね。すべての人が緊張感に包まれた生き方をしていたと思われます。現代人は墮落していますね。</p>
その他補足説明	<p>公用車を連ねて、現地を見て回るのが良いですね。かなり、脱線しながらわいわいと言いながら一緒に回って歩きたいと思います。</p>
公民館から	<p>まちあるき等現地学習については、地域学のグループ等と一緒に企画し、内容等を検討いたします。</p>

(八幡委員)	
事業名 (仮称)	子どもたちのクッキング
内容	ゼリー、フルーツポンチ等のデザート カレー、サンドイッチ等の軽食などの調理実習と試食
目的・趣旨	学校の休校により小麦粉、ホットケーキ粉などの売り切れが続いた。これを機に家でも簡単にできる調理に興味をもち実践につなげたい。
公民館から	今まで、子どもや親子対象の調理実習は好評でしたが、コロナ対策で、公民館事業では飲食の提供ができません。そこで令和2年度はコミ協との連携事業で親子を対象とした「お弁当作り」の調理実習において、各々作った弁当は持ち帰りにしました。このような形を含め、今後も子ども・親子対象の調理実習を実施したいと考えます。